

分科会の構成

今回のフォーラムでは、以下のように3つの分科会を設けて論文の発表を行っていただく予定です。各分科会では、応募いただいた論文の中から審査のうえ、分科会ごとに5編程度の論文を発表していただく予定です。また、応募論文の発表の後に、招待論文1編の発表を予定しております。各分科会の発表予定の論文タイトル等は、フォーラムホームページにおいて事前にお知らせします。

| 区分 | テーマ | 内容 |
|-------|--------------------|--|
| 第1分科会 | 区画整理に関連した街づくり全般の分野 | <p>◇ 区画整理に関連した街づくり全般</p> <p>《例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民満足度の向上に向けたスマートシティの構築の取組み（まちづくりDX） グリーン化や脱炭素に向けたまちづくりの取組み（まちづくりGX） 国際競争力強化、地方都市再生、都市のスポンジ化対策、脱炭素まちづくり、サステイナブルシティ、観光まちづくり、ウォーカブルなまちづくりなど国の重点施策に関する取組み 立地適正化計画に基づく街なかへの都市機能の移転集約などコンパクト・プラス・ネットワークの実現に向けた取組み 立地適正化計画に基づく居住の安全確保の取組み 都市の活性化に向けた独自の戦略や工夫 街づくり計画の実現に向けた面的整備事業の活用、事業手法の組合せ（土地と建物の一体的整備等） 街づくり計画の実現に向けた公民連携に関する取組み 区画整理の計画段階から事業中、完成後にわたるエリアマネジメントによる街づくり 日本の都市開発技術の海外展開 など |
| | | <p><招待論文> 仮)品川駅周辺のまちづくり</p> |
| 第2分科会 | 区画整理の計画、手法に関する分野 | <p>◇ 主に事業手法・計画立案・事業推進等に係る創意工夫</p> <p>《例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 震災復興や事前復興等の都市防災に資する区画整理等面的事業に関する検討 長期未着手地区、事業長期化に対する区域変更などの工夫 区画整理による災害に強い市街地形成 経営改善へ向けた事業区域変更や用途地域変更等の取組み 柔らかい区画整理による大街区化や敷地整序 立体換地、区画整理と再開発の一体的施行等の事業構築の工夫 CM方式・業務代行・民間事業者包括委託など民間事業者が参画して運営に取組む区画整理の事例 空間賑わい創出再編事業の取り組み 小規模な区画整理の連鎖的实施 良好な景観形成など区画整理とあわせて行った街づくり 生産緑地法改正と区画整理の工夫 など |
| | | <p><招待論文> 富山県射水市放生津地区の重点密集市街地対策</p> |
| 第3分科会 | 区画整理の技術に関する分野 | <p>◇ 主に経営改善・合意形成・換地・補償・工事等の技術的な創意工夫</p> <p>《例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営改善への技術的な観点からの取組み 直接施行など施行者が積極的に実施する事業展開の工夫 デジタルツールを活用した合意形成の取組み 合意形成を円滑に進める工夫、トラブル事例と解決策 換地手法（申出換地、立体換地、創設換地など）、換地設計、土地評価（土壌汚染、地中障害物）などの区画整理技術の工夫 震災復興での換地・補償・工事などの技術的な創意工夫 スムーズな徴収清算事務や賦課金徴収事務など権利者対応の工夫 事業長期化に対する換地や工事見直しなどの促進方策 保留地管理法設立など土地利用促進策 など |
| | | <p><招待論文> 浸水対策として宅地嵩上げを実施する土地区画整理事業 ～鹿児島市谷山第三地区土地区画整理事業の取り組み～</p> |

- 注) 1. 応募いただいた論文は、分科会の構成上や内容によって、ご希望の分科会から変更いただく場合があります。
 2. 各分科会では、それぞれの発表の最後に質疑・討議を行いますので、発表者は討議への参加をお願いします。
 3. 論文発表者には、要望に応じて、論文発表者用の都市計画CPD(12ポイント)の発表証明書を発行することができます。(2日目の講演等に参加すれば、合わせて16ポイントの都市計画CPDを取得することもできます。)
 4. 優秀な論文発表者には、表彰状及び副賞の授与を行います。

論文の募集

論文発表をお考えの方は、各分科会のテーマ、内容等を参考に発表する分科会を選定しご応募下さい。応募いただいた論文については、あらかじめ分科会ごとに審査会で審査を行い、分科会で発表していただく論文を選定いたします。また、当日は、分科会における発表内容（プレゼンテーション）を踏まえて特に優秀な論文若干編を選定し、分科会終了後に表彰いたします。

なお、発表いただく論文はすべて論文集に掲載し、当日皆様に配布いたします。

また、論文内容は、単なる事例報告にとどまらず、①事業上の課題（特に苦労した点）とその解決のための創意工夫、②今後の課題又は今後の展開等に向けた期待などを記載するようお願いいたします。